| 授業科目名・形態 | 地域・在宅看護実習Ⅱ　　実習 | 必修・選択の別 | 必修 | 単位数 | 2 |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目担当者氏名 | 石川　セツ子　　他 | 実務経験の有無 | 有 | 開講期 | 3年前期・後期 |
| 科目ナンバリング | N6-3005npmht | | | | |

**【授業の主題】**

地域で暮らす人々の「生活」を理解し、生活の中での支援の必要性を学ぶ。
地域包括ケアシステムにおける看護の役割を学ぶ。

**【到達目標】**

1） 地域で暮らす人々の「生活」を理解し、生活の中での支援の必要性が理解できる。
2） 地域で生活する人々の健康問題を支える活動が理解できる。
3） 保健・医療・福祉に関わる一員として必要な基本姿勢、態度が理解できる。
4） 多職種と連携・協働する中で、継続的に支援する必要性が理解できる。
5） 対象の尊厳、価値観を尊重した看護を考えることができる。

**【授業計画・内容】**

1） 地域で暮らす人々の生活環境、健康問題、地域包括ケアシステムが理解できる。
2） 地域包括支援センターの機能と業務、利用者、目的、包括的支援事業。
体的な健康保持増進する活動、地域包括支援センターで開催される会議・活動。
3） 保健・医療・福祉のチームの一員としてのコミュニケーション、基本姿勢・態度
4） 社会資源の種類とその活用、関係機関との連携・協働。
5） 住み慣れた地域で生活を続けるために必要な支援体制と看護の専門性。
※詳細は実習オリエンテーションにて提示する。

**【授業実施方法】**

1）臨地実習　2）事前学習（課題学習のまとめ）3）実習直前オリエンテーション(実習目標の確認等)
4）施設内反省会（実習2週間の振り返り・反省）

**【事前・事後学習】**

・在宅ケア及び訪問看護実習に関連するサービス、関係法規などの①課題学習と②初日分の実習目標を記載した記録を、実習開始前の指定日時までに教員へ提出し内容を確認すること。
・日々の実習を振り返り課題学習を整理するとともに、次の実習目標を設定すること。

**【主な関連する科目】**

地域・在宅看護論Ⅰ・Ⅱ

**【教科書等】**

2025年度版　地域・在宅看護論①②　「地域療養を支えるケア」「地域療養を支える技術」
編者：臺　有桂　石田千絵　山下留理子　　発行所：メディカ出版

**【参考文献】**

令和7年版訪問看護業務の手引き、地域・在宅看護実習ハンドブック等、その他必要に応じ授業で紹介する。

**【成績評価方法】**

1） 実習中における実習指導者や教員による評価（実習中の姿勢や態度・行動等）や、日々の記録のコメント、反省会・カンファレンス等での発言・発表　（50%。）
2）地域・在宅看護実習（Ⅱ）評価表（50%。）

**【実務経験及び実務を活かした授業内容】**

1）訪問看護の運営業務や、在宅ケアマネジメントの実務経験を活かし実習中の指導に当たる。
2）実習での理解不足や疑問等について振り返り学習をとおして、活発な意見交換により理解が得らえるようなカンファレンスを定期的に実施する。

**【学生へのメッセージ】**

1） 在宅・施設サービスの実習となりますので、特に同行訪問による実習時には、個々の基本的なマナーをしっかり守りましょう。(事前オリエンテーション時に配布した資料を参考)
2） 地域・在宅看護実習の自己学習課題について、しっかり事前の学習をしてから各施設で実習しましょう。
2） 実習での学びをとおして、疑問や分からないこと等は、積極的に指導者や教員へ質問し理解を深めましょう。
3） 限られた実習期間ですので、主体性を持ち、やりがいと達成感のある実習を体験しましょう。